

## 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

公表：平成 31年 3月 1日

事業所

縁JOY time

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			訓練室のスペースは丁度よいと思います。 一軒家などの子供の様子に合わせ環境設定がしやすいです。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	車いす対応はなされていません。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			各スタッフが様々な提案、計画を立て実行しているが目標に達するまでには時間と工夫が必要です。失敗を繰り返し試行錯誤しながら目標に向け改善しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表は事業所の問題点が明確になったので今後、改善に向け活用していきたいです。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員が希望する研修はなるべく参加できるようにしています。
適切な支援の提	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			現在必要とされる支援ができるような計画書の作成を心掛けています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			子ども達が興味関心を持ち楽しんで活動に参加できるよう工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子供の得意な事、好きな事は自己活動の時間として大切に余暇として繋げられるように、集団は様々な学校、年齢の子供たちのなかで過ごすことができるよう計画書を作成しています。

供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日おこなわれる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			全員で打ち合わせすることが難しいが、美術の活動内容は前日に職員のグループラインで共有しています。
	⑯	支援開始後には職員間で必ず打合せをし、その日おこなわれた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			日々、気になった事は児発管に必ず報告があります。翌日に職員に共有できるようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			目標が達成できた時や新たな問題行動がみられた時は必ずモニタリングを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			会議前には、その子供の状況に精通したものと児発管との話し合いの時間は必ずとっています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療ケアが必要な子どもはお預かりしていませんが、情緒面で入院された子どもをお預かりした時は、主治医と電話連絡を取り合っていました。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			小学生しかお預かりしていないのでまだそのような経験はありませんが、現在お預かりしているお子様の移行会議がある時には情報提供ができるよう記録は残しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			長期休みなどは地域の高校生や小学生が来所してくれます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			

保護者への説明等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っています。
	③⑪	保護者からの子育て悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			お仕事をされている方が多いので保護者会の開催は難しいですが、美術活動で出展した際には、親子で参加できるようお誘いをし家族での交流の機会は設定しています。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、通信を作成し子どもの活動内容を伝えています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○			お便りでは配布しましたが説明不足な部分があります。今後改善していきたいです。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④①	虐待を防止するため、職員の研究機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止のための気付きチェックシート等で虐待に対しての意識を高めています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			全ての職員がすぐ対応できるようにしています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			必ず共有し再発防止に向け話し合います。